

第二章 防 災

町では、住民の生命・財産を守るため、災害の未然防止に常時細心の注意を払うとともに、不幸にして災害が発生した場合にはその被害を最小限に阻止することを目的として、平成十年度に「仲南町地域防災計画」をまとめ、関係機関、住民が一体になって予防・応急対策・復旧・復興に当たするための防災ビジョンを提示した。

平成十五年十二月に国から東南海・南海地震に備える必要のある防災対策推進地域指定を受け、新たに「五人組」(向う三軒両隣)を組織化し、平成十六年八月二十九日(日)に町を挙げて大地震想定防災訓練(町内一斉の初期初動・情報伝達訓練並びに町消防団の救助・土嚢積み訓練)を実施した。その様子は、香川県広報特別番組「南海大地震発生、その時あなたは」で一部紹介された。同年度に町消防団は、仲多度南部消防組合の指導を得て普通救命講習(三時間)を全団員が受講し、併せて町職員も町長以下全職員が受講した。地震等による被害を最小限に食い止めるには、町並びに関係機関による防災対策の推進と共に、住民一人一人が常に危機意識を持ち万一に備える事が大切である。

第一節 災 害

県内の災害としては、干害、風水害など気象災害が主で、本町においても昔から数多くの干害が記録されてい

る。なお、平成十六年は相次ぐ大型台風の来襲により、仲南町も今迄にない被害が出た。特に、台風二三号(同年十月二十日)の被害は次のとおりである。

床下浸水二四戸(内訳) 住居一九戸 その他(納屋等) 五戸
家屋一部損壊八戸(内訳) 住居四戸 その他(牛舎・車庫等) 四戸
公共土木災害三九件(内訳) 道路三三件 河川五件 橋梁(本目橋) 一件
林道災害四一件 農地災害六一件

一 塩入地区林野火災概況(平成二年の山火事の記録)

平成二年八月十日二二時〇分ごろ発生した仲多度郡仲南町大字塩入字中川原の林野火災は、幸いにして出火時、ほとんど無風状態であり、ときおり西風が二、三メートル程度であった。

しかし、七月二十三日から一九日間雨がなく、出火当時の実効湿度は六五割と非常に火災の起こりやすい気象下であったが、町役場、常備消防、消防団、地域住民の官民が一体となった消火活動及び自衛隊ヘリコプターの活躍により出火から八六時間後、一六分の林野を焼損して鎮火させた。

今後の参考資料とするために、本火災の全容と概要を報告する。